



ケーブル・アワード2015 グッドプラクティス部門 「東日本大震災 根浜通信」



東日本大震災の津波で壊滅した岩手県釜石市鶉住居地区根浜の復興の歩みを、
2012年2月から毎月取材に赴き、月次番組として放送中(*)
(*)2015年3月放送分までで37回

現地との人の交流を通じて、コミュニティとは何か、生きるということは何かを学ぶ。

～ 根浜の人に寄り添う ～

根浜地区 64世帯/176人(震災前)

中国支部(岡山県)

玉島テレビ放送株式会社



きっかけは...

玉島在住のボランティアの男性が、東日本大震災後、岩手県釜石市鶉住居地区根浜への支援活動(東日本大震災復興応援団)を始めたことを知ったこと。

東日本大震災から2ヵ月後の2011年5月から、取材を通じて、食糧、衣料品等物資の運送支援、コミュニティチャンネルを通じた支援への協力依頼を開始。

現地への物資輸送に同行した、玉島テレビ放送初代社長(現取締役)安藤實が、震災によってお隣さんとともに暮らしてきたコミュニティが破壊された現場に触れ、「地域コミュニティの崩壊は地方の消失」との危機感をいだいた。

⇒「根浜復興支援実行委員会」を立ち上げ、支援活動と取材活動を開始。

根浜の方を倉敷市玉島に招いた「被災地根浜からの報告会(2011.8開催)」での宝来館の女将、岩崎昭子さんのことば

「人にすぎるだけでなく、自分たちで歩こうと声を掛け合っています。

立ち上がるには寄り添ってくれて、励ましてくれる人があると思えば歩けます。

遠い地でも、根浜を思って寄り添っていて欲しい。」



寄り添う、学ぶ、交流が広がる

寄り添う



2012.2 仮設住宅へ畳300畳を贈る
(第2回根浜通信)



2013.2 三回忌東日本大震災
鎮魂ツアー
東日本大震災復興応援団(玉島)
(第13回根浜通信)

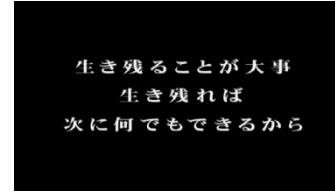


2014.3 第25回根浜通信
「祈り」



2015.3 第37回根浜通信
「3.11の周辺」

学ぶ



2012.7 第6回根浜通信
「生き残ることが大事」



2013.5 第15回根浜通信
「進め! ひよっこりひょうたん島」



2013.11 第21回根浜通信
「合意形成」



2014.10 第32回根浜通信
「復興の手応え」

交流の輪が広がる



2012.5 桜植樹ツアー
国際ソロプチミスト倉敷・高梁
NPO法人21世紀の環境づくりを
進める会(玉島)
根浜復興支援実行委員会



2013.6 ハートフルコンサート
2014.6 ハートフルコンサートⅡ
岡山県倉敷市、総社市の有志
(第17回、第29回根浜通信)



2014.8 釜石はまゆりトリアスロン
チームぽっけえ〜でえ玉島
(第31回根浜通信)



2014.8 中学生を根浜に派遣
玉島ライオンズクラブ



復興はまだまだ長い道のりですが、



これからも玉島は根浜に寄り添っていきます。

